DRC 国务院发展研究中心
Development Research Center of the State Council

開放する中で
新たな協力チャンスを求める

対外経済研究部　張琦

2019年7月

主な内容

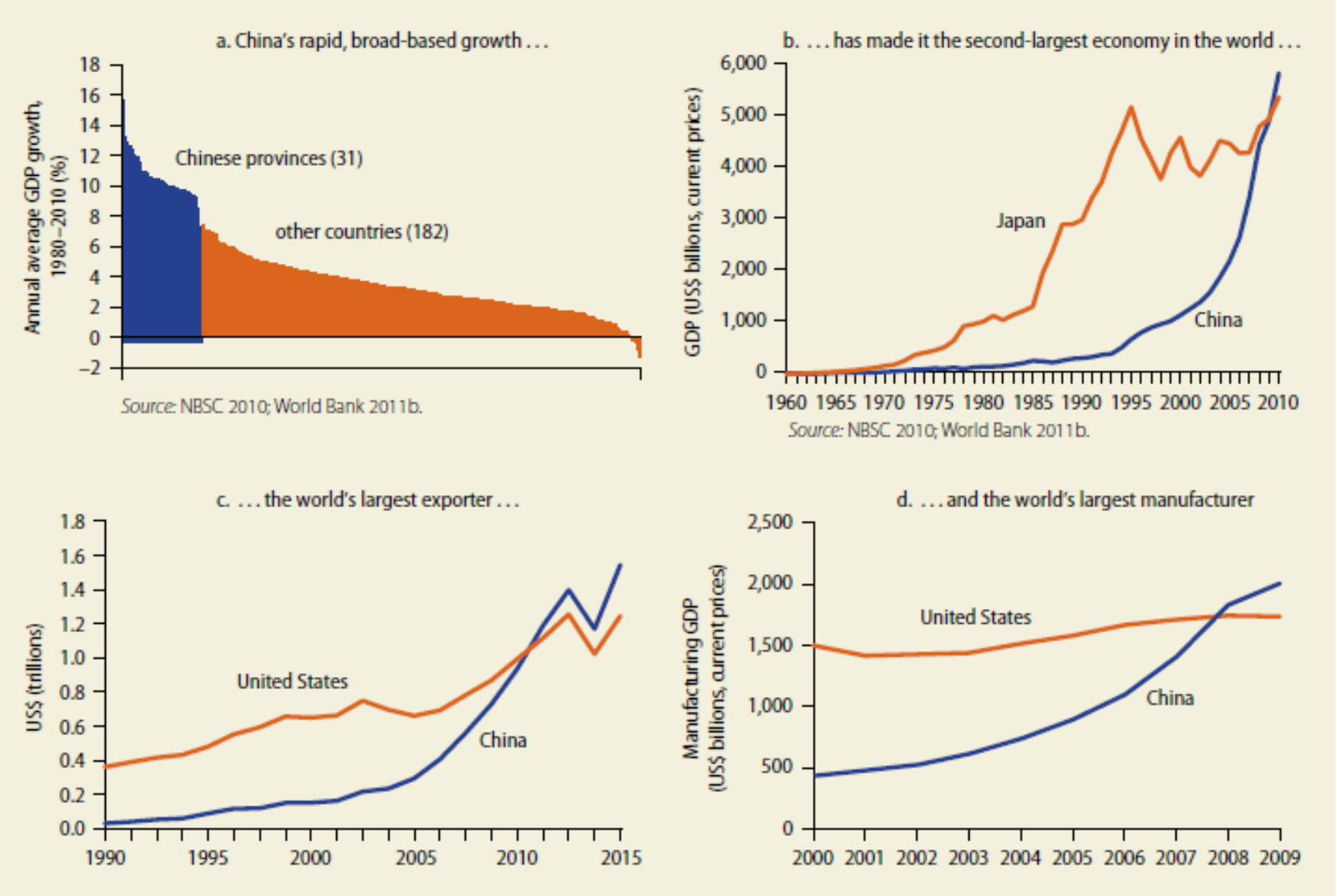
（一）中国の対外開放の歩みと成果

（二）国際経済の新たな情勢と、中国を取り巻く環境の大きな変化

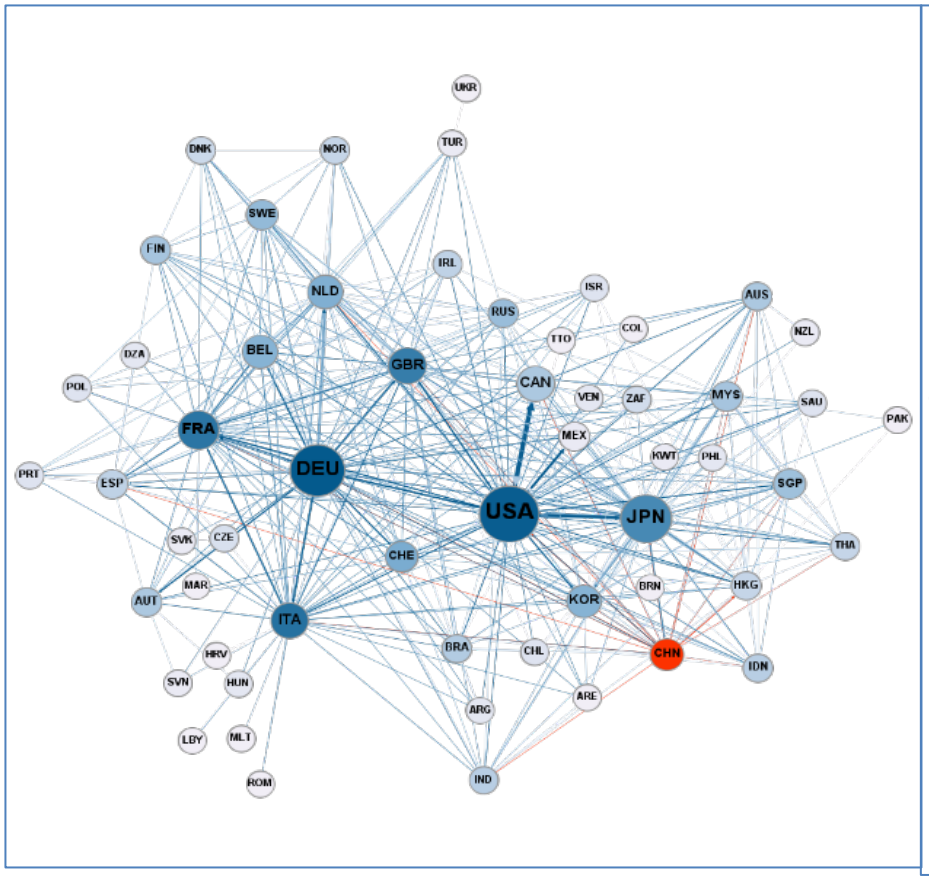
（三）中国は主体的に対外開放を拡大

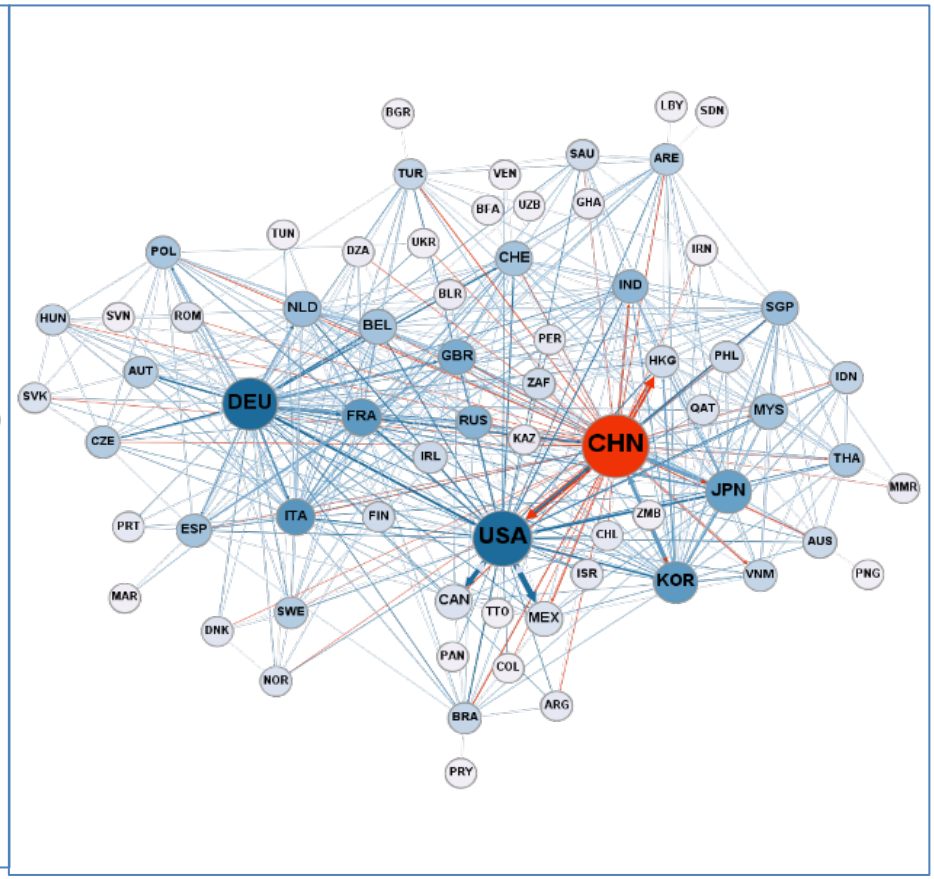
（四）展望：開放する中で新たな協力チャンスを求める

◆ 大きな成果を挙げた中国の改革開放



対外開放を通じて、グローバル経済や国際生産ネットワークへの融合により、中国はグローバルバリューチェーンにおける3大ハブの一つとなった





出所：DRCとWBの共同研究「中国の経済成長の新原動力」第9章「グローバル経済との融合」

対外開放は基本的国策であり、中国経済を飛躍させた重要な推進力である

正しい戦略　（改革開放）　＋ 好機（経済のグローバル化）

1978-1992

・開放の初期：輸出志向、経済特区の建設、外資の誘致
・Opening-up: export-oriented, SEZs, and attract FDI

1993-2001

・開放の深化：市場化の進展、特別経済区の更なる増加、経常勘定の自由化、外資の誘致
・Opening-up (1992 Deng's trip): more SEZs, current account convertible, inter-regional competition in attracting FDI

2002-2012

・制度上での開放：WTO加盟 + 海外進出 +地域及び二国間自由貿易協定（FTA）
・Opening-up: WTO accession, Going global policy

2013/14～

・大国としての開放：開放型経済新体制の構築
・Opening-up: build a new open economic system

2つの課題に直面している世界経済

課題1：

アンチ・グローバリズムとポピュリズムの台頭

一方的措置と保護主義は多国間貿易体制に打撃

課題2：

多様なリスク要因が重なり、世界経済の下振れリスクが明らかに増大

多様なリスク要因が重なり、世界経済の下振れリスクが明らかに増大

不透明感が強まり、国際機関は成長予測を下方修正

- IMF： 2017年、世界経済は広範囲にわたり期待を上回る成長を遂げ、75%の国や地域が上昇基調を見せたが、2019年の世界経済について、70%の国や地域は成長の勢いが鈍化する。

- WB： 失われる10年、後退局面が再び訪れる恐れさえある

Real GDP growth revised down

OECD Interim Economic Outlook Projections *Year-on-year, %.*
Arrows indicate the direction of revisions since November 2018.

	2018	2019	2020		2018	2019	2020
World	3.6	3.3 ↓	3.4 ↓	G20	3.8	3.5 ↓	3.7
Australia	2.9	2.7 ↓	2.5 ↓	Argentina	-2.5	-1.5 ↑	2.3
Canada	1.8	1.5 ↓	2.0 ↑	Brazil	1.1	1.9 ↓	2.4
Euro area	1.8	1.0 ↓	1.2 ↓	China	6.6	6.2 ↓	6.0
Germany	1.4	0.7 ↓	1.1 ↓	India[1]	7.0	7.2 ↓	7.3 ↓
France	1.5	1.3 ↓	1.3 ↓	Indonesia	5.2	5.2	5.1
Italy	0.8	-0.2 ↓	0.5 ↓	Mexico	2.1	2.0 ↓	2.3 ↓
Japan	0.7	0.8 ↓	0.7	Russia	2.3	1.4 ↓	1.5 ↓
Korea	2.7	2.6 ↓	2.6 ↓	Saudi Arabia	2.0	2.1 ↓	2.0 ↓
United Kingdom	1.4	0.8 ↓	0.9 ↓	South Africa	0.8	1.7 ↑	2.0 ↑
United States	2.9	2.6 ↓	2.2 ↑	Turkey	2.9	-1.8 ↓	3.2 ↑

Note: Difference in percentage points based on rounded figures. Dark red for downward revisions of 0.6 percentage points and more. Dark green and dark orange for, respectively, upward and downward revisions of 0.3 percentage points and more but less than 0.6 percentage points. Light green and light orange for, respectively, upward and downward revisions of less than 0.3 percentage points. The European Union is a full member of the G20, but the G20 aggregate only includes countries that are also members in their own right.

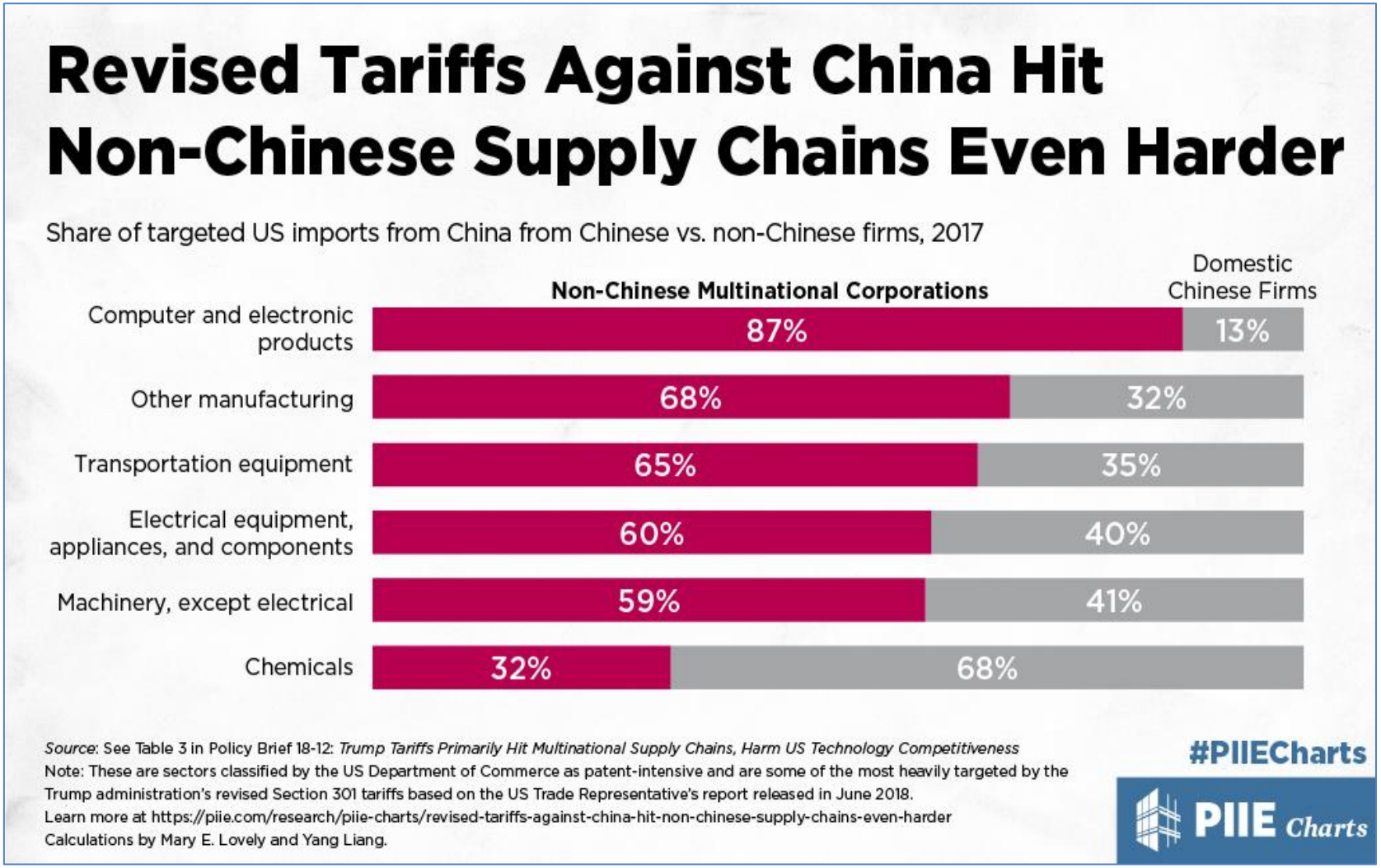
1. Fiscal years starting in April.

短期間で不利な局面を打開するには、多くの困難が存在

- **程遠い構造問題の根本解決：**原動力の新旧交代がまだ実現していない
- **複雑性を増す世界の貿易・投資環境：**後を絶たない摩擦や紛争は世界経済にブレーキを掛けている（GDPや雇用へのマイナス影響、グローバルサプライチェーンの安定性と効果的な運用への脅威。金融、科学技術等の分野への広がり）
- **危機対応のための政策手段が少ない：**高い債務・資産価格・リスク、低い金利・生産性により、多くの国・地域はリスク防御能力が低下し、政策の選択肢が限られる。
- **マクロ政策に関する国際協調の気運が低下：**競争分野の拡大と激化、明暗が別れた各国経済、方向性が異なる政策目標

脅かされるグローバルサプライチェーンの安定性と効果的な運用

- サプライチェーンに組み込まれている中国企業と多国籍企業はいずれも打撃を受ける



短期間で不利な局面を打開するには、多くの困難が存在

- **程遠い構造問題の根本解決：**原動力の新旧交代がまだ実現していない
- **複雑性を増す世界の貿易・投資環境：**後を絶たない摩擦や紛争は世界経済にブレーキを掛けている（GDPや雇用へのマイナス影響、グローバルサプライチェーンの安定性と効果的な運用への脅威。金融、科学技術等の分野への広がり）
- **危機対応のための政策手段が少ない：**高い債務・資産価格・リスク、低い金利・生産性により、多くの国・地域はリスク防御能力が低下し、政策の選択肢が限られる。
- **マクロ政策に関する国際協調の気運が低下：**激しさを増す全面競争（市場、要素、ルール）、明暗が別れた各国経済、方向性が異なる政策目標

WEF「グローバルリスク報告書」は「競争とリスクがさらに激化する」と指摘

今後五年の重要なリスクポイントに関する予測

- 保護貿易主義が強まり、貿易戦争が立て続けに勃発し、多国間メカニズムは対処できない
- 金融危機が再来し、政策措置が機能せず、混乱状態に陥る
- 国家間のサイバー衝突は予想以上にエスカレート
- 格差の固定化
- 地政学的な、大国間の駆け引き➔緊張がエスカレート

グローバル経済は、重要なターニングポイントに立っている

◆　開かれた世界経済を構築・擁護し、力を合わせて課題を対応し、ともに持続可能の発展を促す

◆ 各国の足並みが乱れ、リスクの増大が野放しにされ、経済回復のプロセスや市場の信頼に危険が及び、最悪の場合、新たな危機が起きる。

➔各国は厳しい挑戦にさらされ、重大な選択を迫られている

➔開放と協力こそ、世界経済を推進し、リスクや課題に対応するための強い原動力であり、選ばれるべき道筋である。

「経済のグローバル化は不可逆的な歴史の趨勢である」しかし、国際情勢は日増しに複雑さを増しており、我々は今まで経験したことのないチャンスと課題に直面している。

「全面開放の新構造の形成推進」と「開放型経済の新体制構築」は、更なる開放拡大に踏み切る中国の決意の現れ

習主席：－ 開放はすでに現代中国の鮮明な標識となっている

－ 中国の開放の扉は今後、ますます大きく開いていく

ダボス会議における劉鶴副総理の講演：「共に時代の責任を担い、世界の発展を促す」

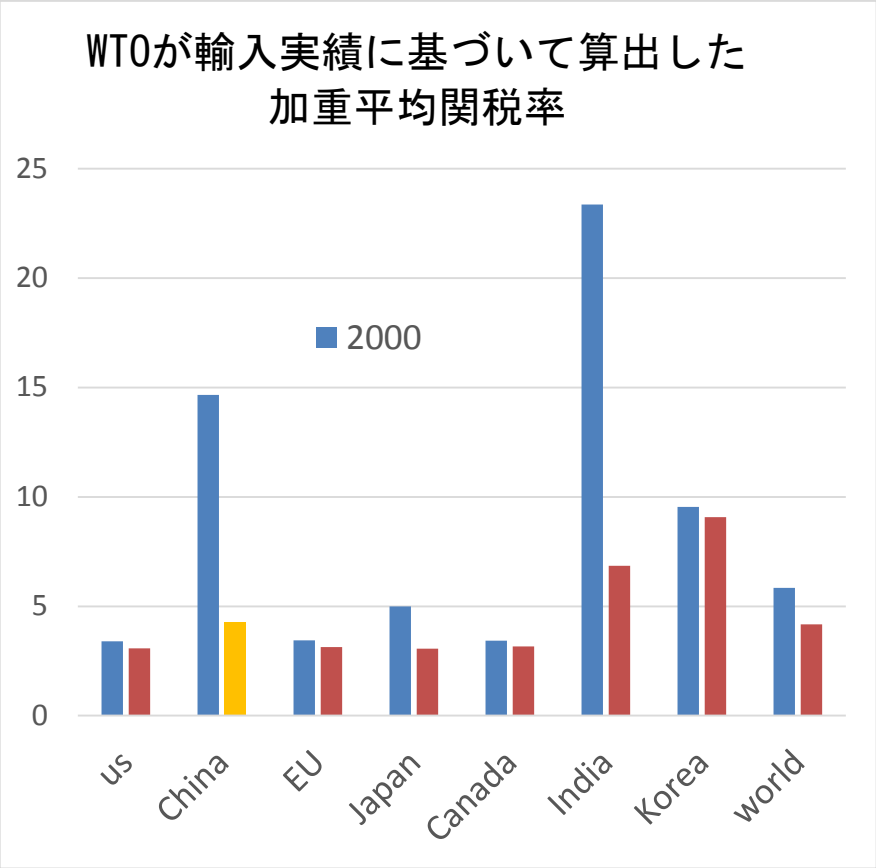
習近平主席が、対外開放に関する一連の新措置を示した。

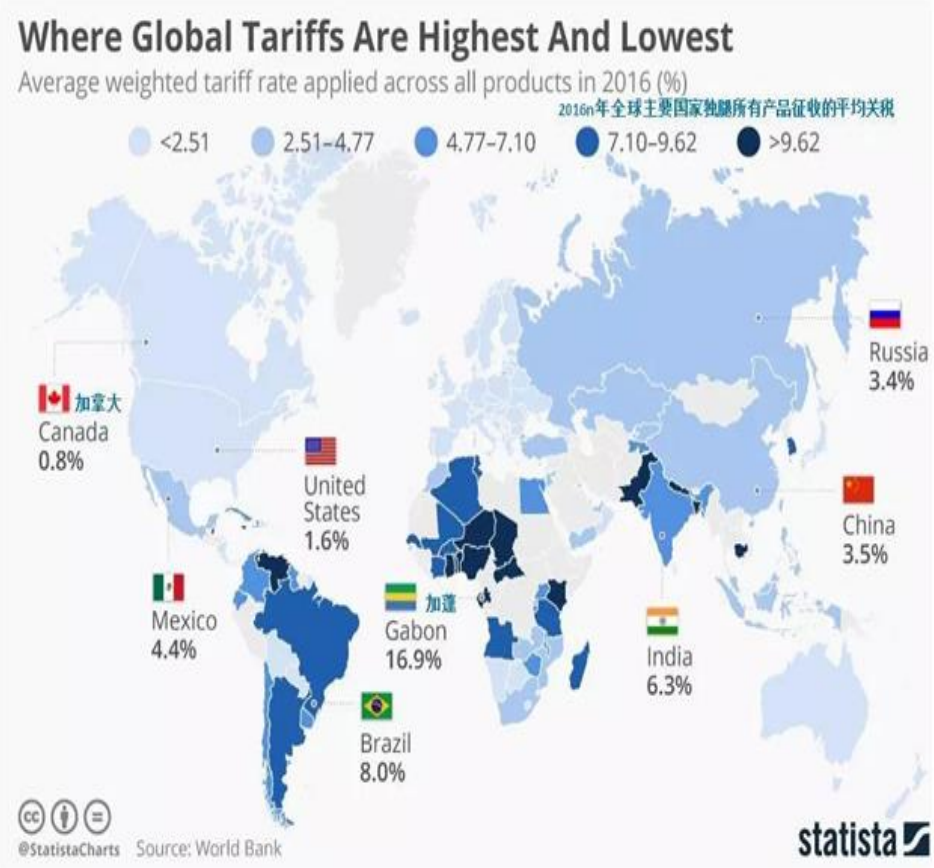
－ 2018年のボアオ・アジア・フォーラムに続いて

－ 2018年11月の第一回輸入博覧会で、五つの改革措置を発表

WTO加盟後、中国の関税水準は大幅に下がった

1）加盟時の約束を履行：名目関税率を15.3%から9.8%に引き下げ
2）加工貿易 ＋ FTA：実行関税率を4%台に大幅に引き下げ
3）2018年、中国は自ら関税（引き下げ）を三回行い、名目関税率を9.8%から7.5%に引き下げた





市場開放のスピードアップ

- **「参入前内国民待遇+ ネガティブリスト」の外資管理体制を全面実施**
- **ネガティブリスト中の外商投資制限措置を大幅に縮小**
  - 自由貿易試験区（FTZ）リスト：2013年の190項目から2018年には45項目に縮小
  - 全国リスト：2018年は48項目
- **一連の開放拡大、外資導入促進政策文書を公布**

グローバル企業の懸念や要望に答え、適切な解決策を示した

中国は一連の強力なビジネス環境改善特別行動を実施し ビジネス環境の顕著な改善を促した

世界銀行が発表した「2019年版ビジネス環境報告書」によると、中国のランキングが前年の世界78位から46位へと大幅に上昇した。

「報告書」は上海と北京を中国ビジネス環境のモデル都市と評価している。

例えば、上海では、企業を設立する際に必要な手続きと所要日数を、2018年の7つのステップ・22日間から、2019年には4ステップ・9日間に減らした。

2018年4月、習主席は金融業を含む市場参入規制の大幅な緩和を発表

対内対外で金融開放拡大で、中央銀行は一貫して次の三原則を堅持する：

- 一つ目は、参入前内国民待遇とネガティブリスト原則
- 二つ目は、金融業対外開放を為替レート形成メカニズム及び資本勘定の自由化の進捗と足並みを揃えて同時に進める
- 三つめは、開放と同時に、金融リスクを防止することを特に重視し、金融管理監督能力と金融の開放度を相互にマッチングさせなければならない

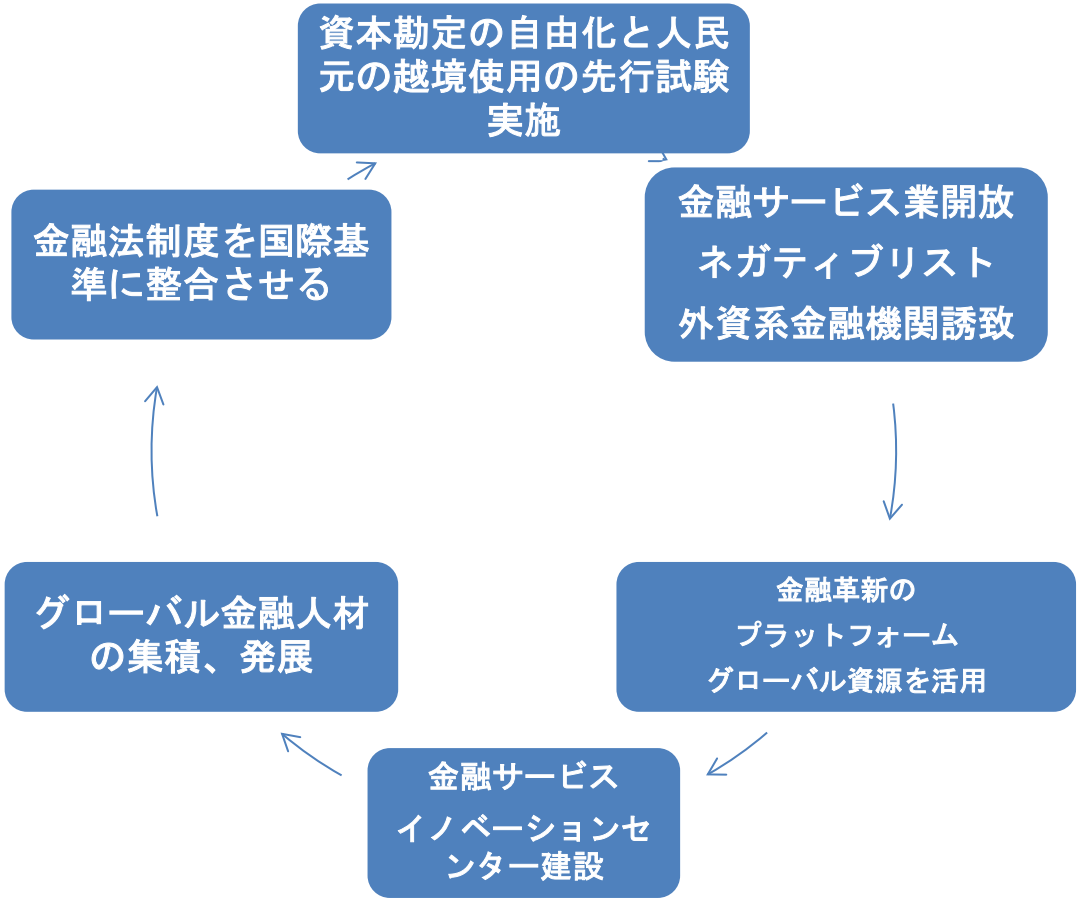
中国人民銀行の易剛総裁は金融分野の対外開放に関する12の措置を発表：

1）金融分野のネガティブリストを徐々に減らし、ライセンスが必要とする全ての業種で、外資系金融機関の持ち株比率の制限を緩和する

2）外資系金融機関の業務範囲を大幅に拡大し、プルーデンス要件をもって参入・資格制限に取って代わる

➔外資系金融機関の中国金融市場に参入するモチベーションを高める、資金のより自由な移動を促す

上海FTZ：金融サービス業の対外開放の拡大が目玉の一つ
その金融改革措置は次々と全国に広がっている



2018年11月の全国「自由貿易試験区改革・イノベーションの深化を支援する若干の措置に関する通知」では金融分野の合計12の措置を行うとしており、主に貿易の利便化促進、FTZ改革のための金融支援提供、実体経済のテコ入れに焦点を当てている。

今年に入ってから、国際情勢は一段と複雑になり、大調整、大変革の様相を見せている国際情勢の新しい変化を正しく捉え、経済のグローバル化の新たな動向に順応しなければならない

- 受動的な対応➔主動的な対応：

  経済グローバル化が深まるよう推進する

  より高水準の対外開放を進める中で、マイナス面を抑え、プラス面を拡大する

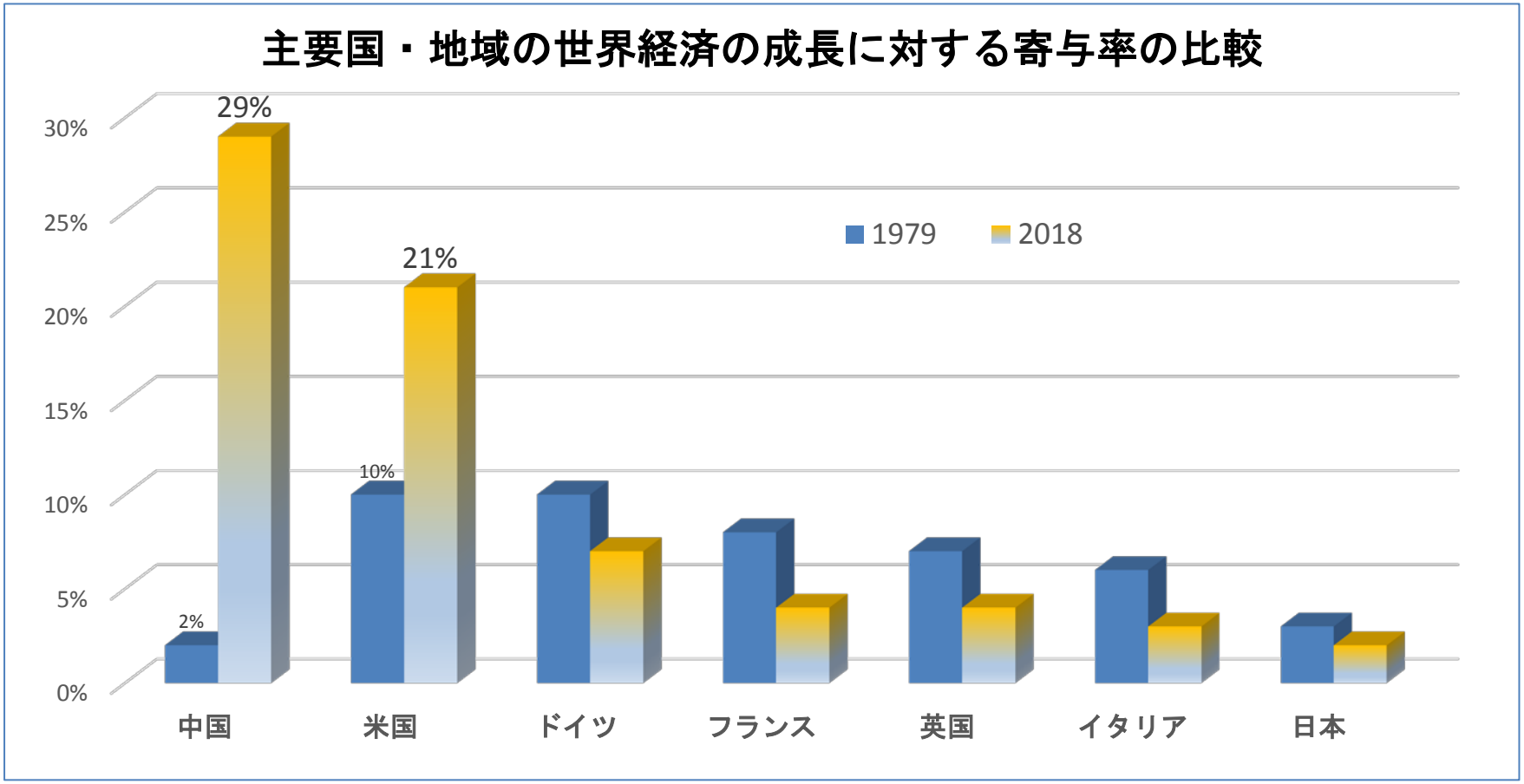
  高水準の開放の中で、新たな協力チャンスを求める

➔ *より深堀した改革と更なる開放：必要かつ喫緊*

G20サミットで中国は、これまでの措置に加え、更にいくつかの重要施策を打ち出し、対外開放の新局面形成に弾みをつけた

市場を更に開放	・外資参入ネガティブリスト、農業、採掘業、製造業、サービス業，2019年は全国40項目、FTZ37項目 ・6か所の自由貿易試験区を新設。上海FTZは面積拡大、海南島では自由貿易港建設を模索する動きを速める。
輸入を自ら拡大	・自ら関税率を更に引き下げ、非関税障壁の解消と輸入段階での制度面のコスト削減に向けて努力する。 ・第二回中国国際輸入博覧会を成功させる。
ビジネス環境を継続的に改善	・来年1月に「外商投資法」を施行し、権利侵害に対する懲罰的賠償制度を導入。民事及び刑事面での保護を強化し、知財保護レベルを高める。
内外無差別を徹底	・外資参入ネガティブリスト以外の制限を全面的に撤廃する。 ・参入後、中国国内（香港 、マカオ、台湾を除く）で登記した各種企業を分け隔てなく平等に扱い、外資企業のクレーム受付の仕組みを整備する。
経済貿易交渉を強力推進	・自由貿易交渉を推進し、RCEP交渉の早期妥結を促し、中欧投資協定の交渉や、中日韓FTAの交渉を加速させる。

世界経済の成長に対する中国の寄与率が大きい
中国は発展のチャンスを他の国と分かち合う用意がある



2018年、中国のGDP増加分は世界13位の国の経済規模に相当

- IMF（5月）：すべての主要国・地域の成長予測を下方修正したものの、中国だけを上方修正
- OECD（4月）：2030年、中国のGDPは世界全体の27%を占め、世界経済への寄与率がすべてのOECD加盟国を上回る

中国は国際協力の強化を提唱する
地域及び世界の発展のため、安定した環境を提供し、開放の中で新たなチャンスを求める

- 開かれた世界経済を提唱し、ルールに基づく自由貿易/多国間体系を擁護する

  多国間貿易体系の収益者、建設者、改革者

- 地域の一体化を積極的に推進する

  RCEPや日中韓FTA等によって、地域の貿易投資の自由化と利便化を促進する

- 「一帯一路」等包容力を有し、開かれた新たな地域経済協力を共同で進める

  それぞれが強みを生かし、第三国での協力を行う

- 二国間経済貿易協力を強化：日中の産業提携、金融協力等

ありがとうございました！

DRC 国务院发展研究中心
Development Research Center of the State Council